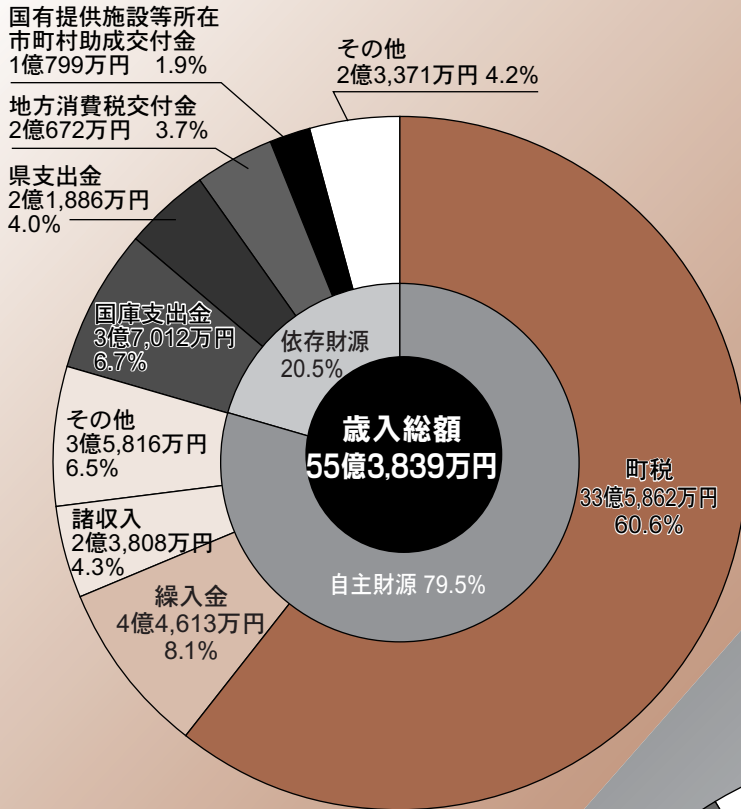
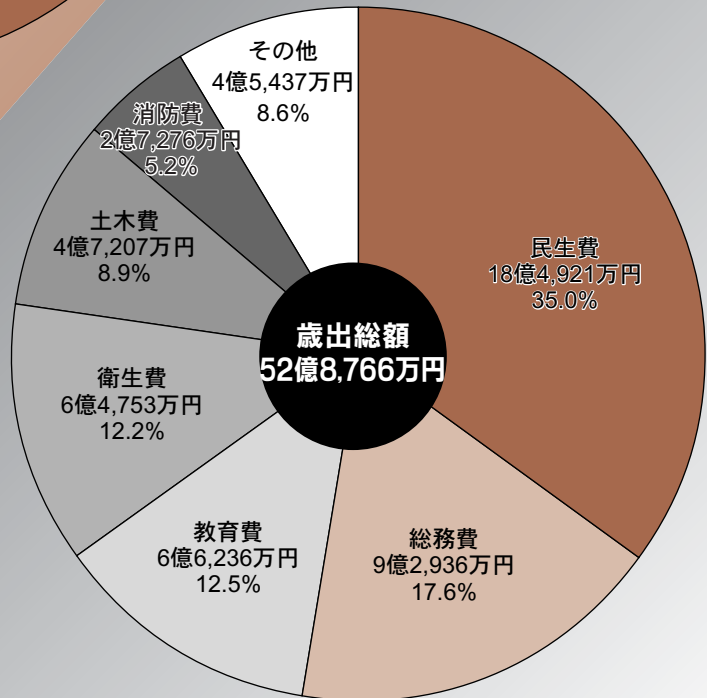


歳入



歳出



自主財源：町税など町が自主的に収入できるお金
依存財源：国庫支出金など国や県によって金額が決められたり、割り当てられたお金

特集

▼問合せ 総務課企画財政・情報係
 ☎ 28・0913

平成二十五年豊山町一般・特別会計歳入歳出決算審査意見書(抜粋)

豊山町監査委員 大野眞一
 豊山町監査委員 安藤春一

一般会計及び特別会計の決算総額は、歳入八十五億六千三百六十五万五千五百一十一円、歳出八十一億五千三百三十七万七千五百一十五円、歳入歳出差引額四億六千九百九十二万九千五百三十六円、翌年度へ繰り越すべき財源九百五十二万六千円を差し引いた実質収支額は、三億九千七百四十万三千五百三十六円の黒字を計上した。

一般会計において対前年度比でみると歳入では、自主財源の柱である町税収入において、個人町民税が二千三百九十八万二千八百三十三円増加、法人町民税が一億八百三十一万九千八百八円減少、固定資産税が六百六十六万二千二百二十五円減少し、全体で額にして、六千九百九十二万六千六百六十二円減少となったものの、株式等譲渡所得交付金、国庫支出金及び繰入金等が増額であったので、全体で三千六十三万四千七百七十二円増額であった。

歳出は総務費の七千二百六十四万七千三百五十七円減少、衛生費及び教育費等減少で、全体で二千八百六十五万五千四百七十一円減額により一般会計の実質収支額は、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いても黒字となっている。

引き続き、収入の未済額については、負担の公平性、財源確保の観点から、効果的かつ効率的な徴収対策を実施するなど、収入未済額の解消に一層努力を望む。

歳出では、経常経費の見直しを図り、費用対効果を十分検証するなかで総合計画実施シートを活用して限られた財源を重点的かつ効果的に配分し、さらには、最小の経費で最大の効果を上げることができるよう、職員一人ひとりが常にコスト意識をもって効果的、効率的な予算執行に心がける必要があると思われる。

変動する情勢の中で、健全性を保ちつつ、適時適切な財政運営に努めるとともに、本町を飛躍へと導くべく総合計画に沿った各事務事業の着実な推進を図り、より一層、町民が望むまちづくりに向け努力されることを期待し、決算審査の意見とする。

▼問合せ 監査委員事務局(議会事務局) ☎ 28・6004